

第48回 モンテペロ市学生親善使節を募集

問い合わせ 芦屋市国際交流協会 ☎34-6340
(〒659-0035 海洋町7-1 潮芦屋交流センター内)



中央の2人は昨年度の学生親善使節

昭和三十六年五月二十四日、本市は米国カリフォルニア州モンテペロ市と姉妹都市提携をし、昨年で五十年を迎えました。これまで、震災の年を除き、昭和三十一年から学生親善使節の交換学生事業を毎年実施し、両市の姉妹都市

市交流を深めてきました。本年も、本市に継続して三年以上在住している高校生以上の学生を対象として、学生親善使節を二人募集します。使節として選考された方には、八月の三週間、モンテペロ市の一般家庭に滞在し、現地の生活・文化・社会への見解を深め、本市の国際交流活動に貢献していただきます。

【応募方法】

- 期間 一月十九日～三月五日 必着
- 提出 期間中に上記窓口*水曜日休館 または上記へ郵送で提出してください。
- 応募要項および申込書は、上記窓口のほか、市役所受付、国際交流・市民参画担当、ラポルテ市民サービスコーナーで配付します。
- 募集受け付け先立ち、オリエンテーションおよび説明会を、次のとおり開催します。興味・関心のある方はご参加の後、申込書を提出してください。

【選考試験】

- 内容 筆記試験
- 面接 (合格者のみ)
- 日時 三月十一日(日) 午前十時～正午
- 三月十八日(日) 午前十時～正午
- 会場 潮芦屋交流センター二階

公民館講座

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998
(〒659-0068 業平町8-24)

日本経済のゆくえー大きな試練をどうのり越えるか

■日時 2月18日～3月3日(土) 午前10時～11時30分<全3回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「日本経済を読み解く」神戸大学大学院教授・滝川好夫氏「日本企業の生き残り戦略」大阪商業大学教授・安室憲一氏 ■定員 60人 ■受講料 1,300円 ■申し込み はがきまたはファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、2月10日(金)までに上記へ

民族学への招待

■日時 2月24日～3月23日(金) 午前10時～11時30分<全4回> ■会場 市民センター401室ほか ■内容 「オーストラリア文化論」国立民族学博物館教授・久保正敏氏「ラテンアメリカ文化論」国立民族学博物館准教授・鈴木紀氏「オセアニア、海に生きるくらし」国立民族学博物館教授・小林繁樹氏ほか ■定員 60人 ■受講料 1,700円 ■申し込み はがきまたはファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、2月15日(水)までに上記へ

健康ハイキング講座ー梅と桜の名所を訪ねて

■日時 2月28日～4月24日(火) 午前8時45分～午後5時 中心<全8回> ■内容 柏木信之氏を講師に、中山梅林・神戸森林植物園・柳生街道・桜の名所「京都の原谷苑」・大山崎のタケノコ掘りほか、毎回10km程度を歩く ■定員 30人 ■受講料 2,400円 ■申し込み はがきまたはファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、2月15日(水)までに上記へ

公民館音楽会 六車智香 おしゃべりコンサート

問い合わせ 公民館 ☎35-0700

■日時 2月12日(日) 午後1時30分～3時30分 ■会場 ルナ・ホール ■出演 六車智香(ソプラノ)金子正樹(ピアノ)ほか ■曲目 約束/初恋/教会のアリア/坂の上の雲より/STAND ALONEほか ■参加料 500円 ■申し込み 直接会場へ

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852

【通常展】 谷崎潤一郎・人と作品
■期間 3月25日(日)まで 月曜日休館 ■会場 展示室
■内容 小出権重や鍋木清方・棟方志功ら巨匠達が装丁・挿絵に意を凝らした谷崎作品の初版本、肉筆から谷崎の息づかいが伝わってきそうな松子夫人宛ラブレター、愛用の三味線や華麗な意匠の金時絵硯箱、推薦文直筆原稿など ■入館料 300円

◆ 平成24年度(4月1日)採用 市職員募集 ◆

職種	① 調理職	② 作業職	③ 幼稚園教員
募集人数	1人程度	1人程度(高卒者対象)	1人程度
受付期間	2月8日(水)まで	2月14日(火)までの平日・執務時間内/*郵送...	8日(水) 14日(火)の午後5時30分 必着
受験資格	昭和51年4月2日以降～平成6年4月1日以前に出生のかたで、調理師免許を有するかた	昭和61年4月2日以降～平成6年4月1日以前に出生し、学校教育法による高等学校卒業、または卒業見込みのかた *大卒者・短大卒者等の応募不可	昭和57年4月2日以降出生し、幼稚園教諭普通免許状および保育士資格を有するかた、3月末までに幼稚園教諭普通免許状および保育士資格を取得見込みのかた
試験日	2月19日(日)市役所分庁舎(予定)		
採用案内	市役所受付(①②③)・人事課(①②)・教職員課(③)で配付(*市ホームページでもご覧いただけます)		
提出先	①②人事課 ☎38-2019・③教職員課 ☎38-2003 (〒659-8501 住所不要)		

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

【ギャラリー・トーク】「津高和〜ねこがみた現代美術」関連企画
■日時 2月4日(土) 午後2時～ ■会場 展示室 ■内容 本展出品者の吉野晴明氏と、当館学芸員が展示解説 ■参加料 要観覧料

【ミュージアムコンサート】～絆〜心と心をつなぐ愛の調べ
■日時 2月11日(土) 午後2時～ ■会場 ホール ■出演 晴山大作(サクソホン)金澤佳代子(ピアノ) ■参加料 要観覧料

【みんなで歌いましょう】
■日時 2月17日(金) 午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■指導 I LOVE ASHIYA(歌/加藤純子・ピアノ/沖倫子) ■参加料 500円 *歌集「愛唱歌(野ばら社)のないかたは、歌集代1,000円別

【講演会「家をまもる神さま仏さま」～「昔の暮らし展」関連企画～
■日時 2月18日(土) 午後2時～ ■会場 講義室 ■内容 家内安全を祈願する神仏について、当館学芸員が解説 ■参加料 要観覧料

【市民企画「午後のひと時シャンソンで」～愛を歌の翼にのせて～
■日時 2月19日(日) 午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■出演 森榮子(歌)・中谷勉(ピアノ) ■参加料 500円(観覧料等)

【第6回人形劇フェスタ芦屋】 わらおう元気に!歌おういっしょに!
■日時 2月12日(日) 午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 人形劇団「ラッキーの会」・「えぶるん」・「かぶとむし」・「おもちゃばこASHIYAシニア・ジュニア・ガールズ」による人形劇・紙芝居・手遊び等。人形劇は「さんびきのこぶた」「打出の小づち」・紙芝居「金津山の黄金」ほか ■定員 先着80人

「第61回 芦屋市展」の作品募集

昭和23年に第1回展が開催されて以来、本展は今年で第61回目を迎えました。本年も、多くの皆さんに親しんでいただける公募展を目指します。*今回も、来場者の投票で選ぶ賞を設けます。募集規定等詳細は、「募集要項」でご確認ください。
■会期 3月17日～25日 月曜日休館 午前10時～午後5時 入館は4時30分まで ■会場 展示室ほか ■部門 平面 油彩画・水彩画・日本画・版画など、写真 ■出品料 1部門・1,000円
■賞 芦屋市長賞・芦屋市議会議長賞・芦屋市立美術博物館奨励賞ほか寄託賞多数。その他、会期中来場者の投票によるオーディエンス賞 ■審査員 今井祝雄(美術家・成安造形大学教授)・川辺雅美(西宮市大谷記念美術館学芸課長)・持田総章(美術家・大阪芸術大学名誉教授)・金澤徹(写真家・成安造形大学ビジュアルメディア群准教授)・吉野晴明(写真家・日本写真家協会会員) ■作品搬入 3月11日(日) 午前10時～正午・午後1時～3時に、額装等展示可能な状態で下記へ

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

「廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」改正・「一般廃棄物処理基本計画」(素案)へのパブリックコメント実施結果

問い合わせ 環境処理センター(施設担当) ☎32-5391

市では、昨年10月13日から11月12日までの間、再生資源の持ち去りを禁止するための「芦屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」の改正と、「芦屋市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」(素案)に関するパブリックコメントを実施しました。その結果、下表の通りそれぞれにご意見をいただきましたので、市の考え方と併せてお知らせします。
*詳細は、市ホームページか、市役所北館1階行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー、また上記でもご覧いただけます。

	「芦屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」の改正	「芦屋市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」(素案)
提出件数	1人・1件	2人・6件
ご意見の内容	数年前、他市で『町内会などの再生資源のごみ集積場所から紙類・缶などの再生資源を持ち去った人を、警察が逮捕した』との報道を見た。 しかし、資源ごみが有効活用されるのであれば、ホームレスの人もおられることだし、他の人が回収してもよいのではないかと、一般家庭にとっては、再生資源といってもごみであることに変わりはないし、持って行ってくれるのであれば誰でもいい。昔はごみの回収業者がたくさんいた。 それから、市が資源ごみの回収に介入する方が、回収によって得られる金額より費用がかかり、税金の無駄遣いということはないか。	経費や場所の課題を上げ、容器包装(その他プラ)の回収を行わない等、削減策に見るべきものはない。 隣接の神戸市並みの分別区分や指定袋の導入を行うべきで、その検討がされていない。最低限、市民の協力を得て、黒ポリ袋の禁止による分別の徹底は行うべき。 処理場への持ちこみごみの問題も、ライフスタイルの変化によるものであり、予約制の導入より完全有料化し、応分の負担を求めるべき。 家庭ごみは、微増の状況の中で、平成4年から19年度まで堆肥化容器助成が行われていたが、終了している。これは、継続的に行う必要があるのではないか。 廃棄物運搬用バイブラインは、ごみの減量化・分別収集および管理コストから、廃止の方向を出さねばならないのではないかと。 廃棄物焼却工場で、廃熱による場内用のローカル発電・太陽光発電の検討をしてはどうか。
区分	「説訳(原案の趣旨を説明し理解を得るもの)」1件	「説訳(素案の趣旨を説明し理解を得るもの)」1件 「回答(意見に対しての答え)」5件
市の考え方	市民が排出した再生資源ごみを無断で持ち去る行為に対して、市民から苦情や対策を求める意見・要望が出ている状況も踏まえ、今回、条例化により規制をしようとするものです。 今後、条例が施行された場合には、パトロールに要する経費などが生じてきますが、この条例改正の趣旨は、市民の信頼に応え、市民と市が協同して取り組んでいる再生資源の回収・リサイクルのしくみを今後も維持・推進していくことですので、その趣旨をご理解願います。	「容器包装プラスチック」の収集については、収集後の保管場所の整備・確保が必要となることや、選別に要する費用が発生することなどから、現状では、分別区分の更なる細分化による「再生利(リ)サイクル」を行う考えはありません。ただし、社会情勢や法整備の内容等に变化が生じた場合、適宜、見直しを行う必要があると考えています。 なお、レジ袋の使用削減など「発生抑制(リデュース)」を推進し、さらなるごみの減量化・資源化に取り組んでいきます。 指定袋の導入については、現在のところ考えていませんが、近隣自治体の動向を注視していきたいと考えています。 なお、今後も市民・事業者のご理解と協力のもと、分別の徹底に取り組んでいきます。 現在は無料となっている「10kg以下の持ち込みごみ」については、ごみの排出抑制や再生利用、排出量に応じた負担の公平化等を進めるためにも、予約制の導入やさらには有料化の検討を行ってきたいと考えています。 生ごみ堆肥化容器購入助成制度は、平成4年度から導入し、平成19年度までに575基の利用がありました。年々利用者が減少すると共に、再利用意識の高揚など一定の成果を挙げたことから、平成20年3月末をもって終了しました。 現時点では、再度、当該助成制度についての創設の予定はありません。 老朽化したバイブライン施設のあり方については、今後、一定の方針を決定したいと考えています。 ローカル発電や太陽光発電については、多大な投資費用が発生することから、現在のところ、施設整備の予定はありません。



ウィザスあしやの催し

問い合わせ ウィザスあしや ☎38-2023

【2月展示「本多豊子 木彫展」】
■期間 2月1日～28日 平日・第1土曜日 午前9時～午後5時30分 ■会場 ウィザスあしや

【一時保育つき大人の読書タイム】

■日時 2月27日(月) 午前10時～正午 ■会場 ウィザスあしや
■対象 子育て中の親(祖父母も含む)と2歳以上就学前の幼児 ■託児 先着8人(1人・300円)
■申し込み 2月1日(水) 午前9時から、電話または窓口へ

女性相談

【相談予約電話 ☎38-2022】
*専門の女性相談員が相談に応じます。
【女性の悩み相談】(要予約)
■日時 2月1日・15日(水) 午後1時～4時 ■内容 夫婦・家族関係、心の悩みなど 託児希望のかたは要予約
【暴力(DV)に関する相談】(要予約)
■日時 2月1日・15日(水) 午後1時～4時 ■内容 夫や親しい関係にある男性からの暴力(DV) 託児希望のかたは要予約

「防災情報マップ」(英語版)を差し上げます

English copies of the Information and Map for Disaster Prevention
地震・津波・標高マップ・避難場所・土砂災害警戒区域・事前準備などの情報を、英語で掲載しているリーフレットを発行しました。必要なかたに差し上げますので、下記へお申し出ください。
問い合わせ 国際交流・市民参画担当 ☎38-2008

《国史跡指定記念展示》「会下山遺跡と加茂遺跡」展

昨年、国史跡となった2つの弥生時代の遺跡から発掘された出土品を展示します。さらに、市指定文化財の「会下山遺跡出土青銅製漢式三翼鏃」や「小銅鐙」も公開します。
■会期 2月1日～27日 火曜日休館 ■会場 市民センター展示場 ■内容 土器・石器・鉄器・青銅器等の出土品
問い合わせ 公民館 ☎35-0700

GATV 広報番組ガイド

2月前半	芦屋市広報番組 あしや トライ あんぐる	放送時間(15分)
オープニング	浜風北公園から	8:30
トピックス	二分の一成入式 1.17ひょうごメモリアルウォーク	12:00 16:00
特集	平成24年 芦屋市成人式	18:15
お知らせ	歴史セミナー 「鼎談・弥生社会から古墳の出現へ」	22:45
エンディング	「芦屋 橋ものがたり」より	※DVD 貸出可

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ 株式会社ケーブルネット神戸芦屋(J-COM)カスタマーズセンター ☎0120-999-000

第49回 ふれ愛シネサロン 《人権啓発映画会》

星の国から孫ふたり ～『自閉症』児の贈り物～
星の国からようこそーあなたに会えてよかった
「自閉症」児と家族、療育者と教育現場のあり方を見つめ直した物語
■日時 2月24日(金) 午後3時30分～5時5分
■会場 消防庁舎3階多目的ホール
■出演 馬淵晴子・加藤忍・ミョンジュ・乾貴美子ほか
友情出演 小林桂樹・紺野美沙子・米倉育加
監督・横坪勇鶴子/原作・門野晴子『星の国から孫ふたり』パークレーで育つ「自閉症」児 (岩波書店刊)
■定員 100人 要予約
■申し込み 2月17日(金)までに、電話で下記へ
*定員に達し次第、予約受け付けを終了します。
問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055



♪ エントランスコンサート part19 届け! 歌の喜びと元気 ♪

ピアノ伴奏に乗せ、元気一杯の歌声をお届けします。
■日時 2月26日(日) 午後2時～3時30分
■会場 保健福祉センター1階 呉川町14-9
■出演 ヴォーチェ・アモレ(男性3人・女性2人)
カンツォーネ カタリ、マッティナータ、ラ・スビネーラ ほか/日本の歌・世界の歌の道・グラナダ、アメイジング・グレイス ほか/オペラ・アリア 私の父さん、闘牛士の歌、誰も寝てはならぬ ほか
■参加 直接会場へ *車でのご来場は、お控えください。
問い合わせ 福祉センター ☎31-0612

《第2回 芦屋文学検定》

猫・月・芦屋 二人の作家～谷崎潤一郎と村上春樹～
愛猫家として知られている谷崎潤一郎と村上春樹を取り上げ、「猫」を、またルナ・ホールにちなんで「月」をテーマにしたお話と音楽を楽しみながら、2人の作家や作品に関しての知識を競う市民の集いです。
■日時 3月31日(土) 午後1時30分～4時30分 1時開場
■会場 ルナ・ホール ■内容 猫&月ゆかりの名曲演奏(リコーダー・オーケストラO.R.S)/講演 月と芦屋と二人の作家 河内厚郎氏/お話し 谷崎潤一郎・村上春樹とネコの話(鈴村和成氏/ルウエイジャンフォレストキヤット/聞き手 観月環氏)/大検定 司会進行 定藤博子氏 ■入場料 500円(市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット55858)
問い合わせ 市民センター ☎31-4995

市ホームページ・パナー 広告募集

■掲載ページ 本市ホームページのトップページ
■広告の内容 市の広報媒体としての品位・公共性・公益性を妨げないもので、市民に不利益を与えないもの ■規格 縦60ピクセル×横100ピクセル(GIF形式) 4キロバイト以内 広告原稿は、フロッピーディスク等で提出 ■広告料 1枠・月額15,000円(掲載期間1カ月単位) ■広告料の納付 市指定の納付書で納付 ■申し込み 「市ホームページ広告掲載申込書」に広告案を添えて、広報課へ。詳細については、市ホームページのトップページ「広告について」をご覧ください。
問い合わせ 広報課 ☎38-2006
http://www.city.ashiya.lg.jp/